

札幌東区社保協

雇用・生活・医療など切実な声相次ぐ

SOS札幌東ネットワーク主催 無料相談会に相談者35人



「雇用・くらし・SOS 札幌東ネットワーク」が大企業の身勝手と首を切り

れ、仕事や住まいをうばわれた人達をほっておけないと、三月二十四日、東区民センターで無料の相談会を開催。午前九時三十分からサポーターが区民センターの前で案内のビラの配布でスタート。事前にハローワーク配布した前でビラをや、病院の待合にあったビラを見た人達が相談開始と同時に次々と訪れ、午前十時から午後五時までに三十五人が相談に訪れました。この日は、一人ひとりのケースに応じて丁寧に対応しようと医療関係者、福祉関係者、教育関係、弁護士や女性団体などから六十名がサポーターとして参加し、医療、生活、労働、教育、法律に分けてコーナーを作り相談を受け付けました。「生活が苦しい」と相談に来る人も多く、その場で生活保護の申請に行く人もいました。また、血圧が高くて病院に受診したかたもいました。どの相談者にも不安を取り除くためにサポーターが付き添いました。当日は、おにぎり、豚汁の炊き出しも用意され相談者の半数が食事をして大変喜ばれました。

相談者の切実な声

に借金がある。自己破産もしている。

① 年金暮らしの五十代男性は、昨年八月以降仕事がなく相談に訪れた時の所持金が八十円でした。生活保護申請が必要と判断し、保護課に同行。その場で保護開始の見通しとなった。

院へ受診となった。

② 食事を食べさせて下さいと相談に来た方。血圧を測ると、百九十/一〇二で、十条を受診してもらい治療に任せました。

③ 七十二才の年金生活の夫婦貯蓄を切り崩して年間百万程度の年金で細々と生活してきたが、健康のこのや今後の生活の事が不安で相談。生活保護を受けるにはどうしたらいいのかわからない。

④ 二十才男性心臓が悪く休みがちで月末で解雇になる。生活保護を受けたいのだが、話を聞くと昨年交通事故を起こして同乗者の補償問題をかかえている。体の方はきつくて入院を勧められている。健康、仕事、生活など様々な問題が絡み合っている。

③ 建設会社を解雇となり、胸の痛みがあるがお金なくて受診できなかった方。無償を利用しての受診と生活相談としました。

④ 四十六歳男性 建設関係の内装の仕事をしている。仕事がない。グループ

④ 正社員で入社したが出張中に季節雇用でされ、仕事上のケガを理由に解雇された、三十代男性はローカルユニオン・結に加盟して会社と話し合う事になりました。

⑤ 五十代男性は小学生の子どもが二人います。「今年で仕事が無くなった。」と相談、体の不調も訴え病

